

議題（１）

平成30年度学校給食共同調理場の運営方針について

1. 取り組み方針

学校給食の基本は安全・安心でおいしいことです。学校給食共同調理場では、衛生・安全管理の徹底や栄養管理の充実に努め、安全でおいしい給食の提供に積極的に取り組んでいます。

重点事項

- (1) 衛生管理の徹底 ※平成30年度からパンの個別包装を実施すると共に冬季はノロウイルス検査を実施予定。
- (2) 地産地消の推進 ※使用量増を検討予定。
- (3) 食育の推進 ※前年同様小中全12校全クラスの訪問を予定。
- (4) 調理事故等の防止 ※定期点検の継続実施と始業点検の強化による事故の未然予防等。

2. 学校給食の概要

(1) 平成30年度学校給食共同調理場事業特別会計歳入歳出予算（予定）

下段の（ ）内は平成29年度当初予算

歳 入	(千円)	歳 出	(千円)
1.事業収入	314,613 (323,059)	1.総務費	45,399 (46,802)
2.繰入金	243,785 (249,714)	2.事業費	510,836 (523,807)
3.繰越金	750 (750)	3.予備費	3,000 (3,000)
4.諸収入	87 (86)	—	—
合 計	559,235 (573,609)	合 計	559,235 (573,609)

給食にかかる平成30年度予算は総額で約5億5,923万5千円であり、そのうち賄材料にかかる経費は約3億2,835万2千円で、この経費から炊飯委託加工賃の一部を除き給食費として保護者の皆さんにご負担していただいております。

前年度（平成29年度）に比べまして歳入歳出ともに若干減額されており、原因は少子化の進展による児童生徒の減少によるものです。

(2) 給食提供数及び給食費 (予定)

平成 30 年 4 月(見込み)

	年間給食回数	給食数	給食費月額	給食費年額	1食あたり金額
小学校 (8校) ※桜台小学校を除く	189回	4,130食	4,500円	49,500円	260円
中学校 (4校) ※桜台中学校を除く	189回	1,920食	5,300円	58,300円	310円
合計	—	6,050食	—	—	—

学校給食共同調理場では、自校式の桜台小中学校を除く市内12の小中学校に給食を提供予定で、1日約6,050食、年間189回を提供予定です。給食業務のうち調理業務と配送業務については引き続き民間委託により実施予定です。

3. 給食費の徴収状況

(1) 平成29年度の徴収状況 (平成29年12月末現在)

	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	未納人数	徴収率(%)
現年分	312,428,230	226,165,490	0	86,262,740	292	72.39
過年分	12,792,619	1,610,680	0	11,181,939	383	12.59

(2) 徴収対策

①口座振替の推進

生活保護、準要保護、教育実習生以外は原則として口座振替を推進。

②電話催告や訪問徴収の実施

毎月各学校を通じてお知らせを配布。

また、平成30年度も引き続き休日訪問を実施し、少額未納者に対し早期対応できるよう取り組むこととしたい。

③児童手当からの納付の依頼

児童手当から給食費の支払へ充てることのできる範囲を拡大した。

- ・保護者からの申し出により最大6年間児童手当からの徴収予定
- ・現年分の未納についても徴収予定
- ・兄弟の児童手当支給分からも徴収予定

④支払い督促制度

民事訴訟法に基づき簡易裁判所に支払い督促の申し立てを行う予定

⑤未収金の徴収の一元化

「行政経営改革実施計画」で市税とあわせ保育料や給食費などの未収金徴収体制を強化するため、プロジェクトチームを設置し未収金徴収の一元化を検討する。

4. 課題

(1) 施設、設備の老朽化対策

屋根の老朽化をはじめボイラー及び蒸気配管、調理設備・器具類及び食器洗浄機の老朽化等については、定期的に点検していくと共に日常における始業点検を強化し、早期発見と早期処置により対応予定。